

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 7 月 8 日

色部を入力してください

【評価実施概要】

事業所番号	3870104811		
法人名	(有) ライフサポートさくら草		
事業所名	グループホーム軽井沢		
所在地	松山市南斎院乙19-5		(電話) 924-5655
管理者	相原香子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 21 年 6 月 24 日	評価確定日	平成 年 月 日

【情報提供票より】 (平成 21 年 6 月 11 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 20 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 11 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 2.7 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 21 年 6 月 11 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護 1	6 名	要介護 2	4 名
要介護 3	3 名	要介護 4	1 名
要介護 5	4 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 78 歳	最低 58 歳	最高 93 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小高い山を開拓した団地の一角に、2つの住宅を廊下でつないだ2ユニットのホームである。居間からは山間や市街地、眼下に学校・グラウンド・公園等が見渡せる。開設から4年が経過し、「一人ひとりの思いに寄り添う」を大切に、職員と馴染みの関係を築きながら利用者は落ち着いた生活を送っている。時に、重度化する利用者の心身の変化の対応に、専門家の助言・指導が必要な状況がみられる。管理者は、常に新しい視点で取り組む姿勢を持ち、今後が期待できる。少しずつ重度化してゆく利用者が快適な生活を送るため、技術をはじめ統一した支援を追求してゆく姿勢が垣間見られ向上心のあるホームである。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

現在の管理者は、前回の評価時が産休・育児休暇の期間で、先月現場復帰を果たしたため、職務の引継ぎ等で課題であった「地域との関わり」については余り対策が進んでいない。管理者の復帰を機に、ホームが地域の社会資源となる関わりを持てるように、取り組みを期待したい。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員で項目を分担して自己評価して、責任の担当者がまとめている。評価項目は職員全員で把握することがケアの質向上に繋がるため、職員は全項目に関することを期待したい。また、具体的な改善点の検討にも関ることが求められる。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

ホームの状況や介護の様子・行事や地域との関連・生活者の活動等を情報提供し、意見交換している。意見は職員間で共有し、検討し、出来るだけ早く解決に向けて取り組んでいる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

毎月一回の新聞・面会時・電話・手紙等で情報を提供し、家族の意見等が出やすい努力をしている。また、意見や苦情はホーム内外部の窓口を説明し明示している。それぞれの意見は早急に検討し、改善に生かし個々に返している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営者が自治会や地域活動に積極的に参加し、行事等の情報はリアルタイムに把握している。しかし、近所付き合いの点では挨拶程度に留まっており、ホームに出入している近隣者が多いとまでは言えない。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。
(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム軽井沢

(ユニット名) ぽんかん

記入者(管理者)
氏名 坂東 昌子

評価完了日 平成 21 年 6 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域資源の活用や、地域の人との交流を通じて、地域密着型の施設として、提供できる限りを提供し事務所独自のサービスとしている		
			(外部評価) 地域の中で、人々と交流しながら、個々の利用者の生活を続けてゆけることを大切にされた支援を理念に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 施設理念を職員の目のはいるところへ置き、いつも念頭におきながら、仕事にはいるようにしている	※	できているが、より一層の努力が必要とされる
			(外部評価) ホームの中で目に触れる所に提示し、生活の目標として開設時より慣れ親しんでいるが、今年度は全職員で時間をかけて取り組み、見直しの機会を持つことを予定している。	※	理念を通して日々の取り組みを見直すことで、職員のケアの向上への意識づけとなる。そのためには、理念達成のための目標をユニット毎に行うことや、その具体的な評価を行うことに期待したい。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 施設入所時にあたり、施設代表のおよび管理人が説明を行い、日々の生活の中で説明をしていき、理解していただいている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的あいさつをし、顔を知ってもらおうようしているが、気軽に入れるというところまではつながっておらず、今後努力が必要とされる	※	施設を理解して頂けるように、気軽に入れる雰囲気作りをしていく
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会への参加、行事への参加を心掛けて行っている。行ける人には職員が参加をしている (外部評価) 自治会に加入しており、地域の活動や行事にも参加している。ご近所とは散歩時の挨拶は出来ている。		今後も継続していきたい
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) できることはないか話し合いをすることはあるも、実行できていないのが現状である	※	施設にて介護教室を開催したり、相談窓口になれるような施設となり、地域貢献につなげていきたい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価は職員の見えるところへ置き、職員一人一人が見て、自分たちのすべきことを理解し、今後につなげていけるようにしている (外部評価) 評価の意義は理解し改善に向けての意欲は高いが、まだ十分検討されていない。全職員で分担して自己評価をし、ユニットの責任者と管理者等でまとめているが具体的な改善点を検討するまでには至っていない。	※	全職員で自己評価に参加し、具体的な改善に計画的に取り組むことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヵ月に一度開催し、評価を受けたことの報告を行ったうえで、今後の方針や利用者の状態を考えた上でのサービス向上につながる話し合いを行っている		
			(外部評価) 二ヶ月に一回開催し、ホームの利用状況・行事・介護に関する情報等の説明や意見交換をしている。意見や改善は職員で共有し、出来るだけ早急に対応している。	※	メンバーは固定しないで、関連の深い警察や消防署の職員や市のケースワーカー等にも参加を促すことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営方法の疑問点等は、市役所の介護保険課に行き指導してもらっている		
			(外部評価) 運営推進委員会のほか、市役所の介護・福祉担当者とは報告や相談等で関係作りが出来ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 施設代表及び管理者が、研修会などに参加を行い、理解し、活用をしているが、職員全員が理解できていないところもある	※	勉強会等で説明を行い、再認識することによって、全員が理解できるようになる
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会等で虐待の理解を再確認をし、細部にわたり注意を行い、虐待防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には法人代表と利用者又は、利用者家族と十分話し合った上で、契約しており、納得されたうえでの契約としている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情処理を行うために、苦情処理代表として管理者を置き、処理をするためのマニュアルを作成し対応を行っている。日々利用者の意見を聞き、なにかあればすぐ対応できるようにしている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月に1度、新聞を作成し、家族へ送ったり見えるところへ展示することで、日々の暮らしぶりを見て頂いている。職員の状況変化は、面会時のみの対応になってしまっているため、今後改善する必要があると思われる	※	職員配置が分かりやすく見えるように検討する
			(外部評価) 毎月一回ホームの利用者や職員の情報を新聞にして配布している。また、面会時の情報交換や必要時に電話・手紙で報告している。職員の異動等の周知徹底は利用者への影響も含めて工夫が必要と感じている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情処理を行うため、代表をおき、マニュアル作成しており、対応しているが、あまり苦情を受けていないこともあり、実際の対応は少ない	※	実際、苦情における対応があった場合に各自がしっかり対応できるようにしておく 勉強会などで実際に会ったことなどの事項をあげながら、苦情処理について知っておくと良いと考える
			(外部評価) 面会時は情報交換をし、意見や苦情を話していただける努力をしている。また、内部・外部への相談窓口も説明し、明示している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月20日にユニット会議を行っています。また、必要時には、20日以外にもユニット会議を行っています		ユニット会議時には、職員全員の意見を出しあって行っています
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 急なことが起こっても、運営者職員一同連携を取れるように対応しています		これからも継続していきます
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職があった場合は、なるべく利用者の人への不安がないように職員が努力をしています	※	異動や離職を減らすように、職員が動きやすい環境を作っていかなければならない。また、職員のスキルアップを図り急な異動や離職があった場合も利用者へダメージを軽減出来るようにしていきたいです
			(外部評価) 職員の異動による利用者への影響が出来るだけ少なくなるよう、職員間で情報交換をしている。また、職員の離職が少なくするため、職場環境の整備や職員のスキルアップについても期待したい。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会に参加しています。また、日々の介護の中でアドバイスを行っています	※	職員のスキルアップを図るよう、講習や研修会への参加を促しています
			(外部評価) 講演会や研修会への出席・参加は多いとは言えず、職員の意欲に繋げることを期待する。職場内では会議だけでなく、勉強会として計画的に企画・運営して行くことも期待する。	※	身近な介護技術からトピックスまで日々の業務で、個々の職員の意見を入れながら計画・評価することを期待する。また、外部での研修参加等についても個々の職員に意識づけして、参加に繋げることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営者や管理者は研修会や勉強会に出席して交流を図っているが、他の職員は図っていないです	※	他の職員も研修会や勉強会に出席して、交流の機会を図ってほしいです
			(外部評価) 指導的な職員は研修会などに出席することで同業者との交流は出来ているが、全職員が交流出来ていないとまでは言えない。	※	ホーム外での学びの機会は、職員同士の交流が期待出来る。この交流を通して自らの日々の業務を振り返ることも可能となる。これは利用者へのよりよい支援に繋がるため、積極的な支援を期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 適時、運営者と管理者が職員から個別で話を聞き、ストレス軽減に取り組んでいる		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員一人ひとりに役割を持ってもらうように、心掛けている	※	役割分担の偏りが無い様にするなどの改善が必要
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 今までの生活歴や求めていること、困っていること、不安なことを、きちんと聞かせてもらって、それを元にアセスメントを作成しています	※	アセスメントを元に利用者さんの不安を取り除いていけるように、もっと努めていきたいです
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 日々相談をし、よく話し合いをするように努めています		相談や話し合いの中で、家族さんの思いを把握し、こういう風にしてほしいと説明をして支援しています

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 最初に相談を受けた時に、よく話し合い把握できるように努めています		家族さんから他のサービス等があれば、他のサービスも紹介しています
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人さん、家族さんと相談してすぐに入所と言うのではなく、事前に見学をおすすめしています (外部評価) ホームの職員が面談したり予め見学していただいたり、馴染める雰囲気を作っている。また、初期には必要に応じて家族の協力を得ている。		入所時はやはり不安になると思われるので職員がさりげなく、フォローするようにしています また、家族さんに面会や電話などしてもらえるように、お願いしています
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者さんから昔の話や生活の知恵を教えてもらっています。職員と利用者さんが共に支え合えるような、家族のような関係になれるように努めています (外部評価) 常に職員と利用者は共に支えあう関係を持てるように努めており、職員はお互いの関係を尊重している。	※	利用者さん1人1人ともっと、関わる時間を多くもつようにしてより良い関係作りが、できるようにしていきたいです
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々家族さんと情報共有し、利用者さんを支援していけるような関係を築いていけるように努めています		これからも言葉づかいや態度に気をつけて、明るい態度で接していきたいです

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 季節ごとのイベント等に家族の人を招待して、参加して頂きより良い関係を築いていけるようにしています	※	これからもどんどん参加して頂けるような、魅力のあるイベントを行ってみたいです
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所する前より利用者さんが利用していた場所（美容院等）など、今も交流がある人もいるが、十分ではないと思います	※	もっと利用者さんの希望を聞いてあげて支援できるようにしていきたいです
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が利用者同士の関係を把握し利用者同士が、仲良く生活して頂けるように注意しながら支援させて頂いています		仲の良い利用者さん同士もおられるが、そうでもない利用者さんには職員がさりげなく声かけしフォローするようにしています
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所した利用者さんにもお葉書をお送りします。また、相談があれば相談にものっています		継続していきたいです
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活の中や今までの生活歴などから把握するように努めています	※	今後もっと把握できるように努めてそれをケアプラン等に取り入れて行きたいです
			(外部評価) 日々の生活の中で一人ひとりの希望を知りながら生活歴を把握するように努めているが、その記録化がされおらず、職員全員が共有しているとまでは言えない。	※	職員個々に把握した生活歴を記録しまとめて職員全員で共有し、一人ひとりの希望や意向として大切にすることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今までの生活歴などは、全員とはいかないがある程度は把握していると思っている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 居室に閉じ込まれない様に出来るだけ声をかけ、1日を楽しく過ごせる様に心がけ心身状態を把握し、話し相手や訴えを聞き入れ、1日をリラックス出来るよう努める		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) スタッフと話し合い、より良い所は取り入れ、悪い所は改善していき、利用者にとってより良い介護計画を作成するように努力をしている	※	ご家族の意見等を聞くチャンスが中々無いので意見を聞く機会を積極的に作りたいです
			(外部評価) 担当者(受け持ち)が家族や利用者の希望等を聞き、ユニットの責任者と共に、個々の利用者の希望に添った介護計画を作成している。	※	家族の希望を聞く機会を工夫して、より本人や家族を巻き込んだものとなる様期待する。また、ケア計画に関する会議を持ち、多くの職員で話し合っって作成することを期待する。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) その都度、変化あれば、スタッフと話し合い、家族に連絡を取り、新たな計画を作成している		
			(外部評価) 定期的に見直しを行っており、変化時はその都度家族の協力を得ながら見直しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子は、毎日記録に残し、実践、結果はもちろん、記録に残し、情報をスタッフ同士にて共有している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 日々の生活の中で事業所でできるサービスを提供し、その度対応、支援を行っている (外部評価) 本人や家族の要望に応じて、日々の生活の中で対応している。受診・外出・理容美容・個々のお付き合い等できる範囲で支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域やボランティアなどに協力して頂き、事業者の行事やイベント事に参加協力を支援してもらっている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望に応じて、必要がある場合には他サービス利用のために、スムーズに支援をするため努めている		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の希望に応じて、必要な時は支援センターへの相談した上で、協力を得て、本人の意向に添えるよう働きかけをする		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医の受診支援は、支援している 家族等の希望もいれ、適切な医療は受け入れている (外部評価) かかりつけ医の受診支援は出来ており、必要時訪問看護も受けている。また、希望により継続した医師の受診も受けている。	※	受診に関する業務は看護職が担当し、統一した連携が取られることを期待する。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知専門の病院で受診、診断を受けたうえで投薬、治療を薦めている。変化があれば、Drへ相談し、治療の変更を行っている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医の訪看があった際、相談を行ったり、24h対応のため、何かあればその度対応、支援を行っている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) かかりつけ医と相談のうえ、病状に応じた対応が出来るように、連携をとっている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルケアにおける必要書類作成したうえで、家族の考えを聞き、聞き取りしたうえでの対応をかかりつけ医と相談し、対応できるようにしている (外部評価) まだ事例はないが、作成したマニュアルに添って意志の確認をした利用者がある。症状の変化に伴って家族も含めて時々医師とミーティングを計画している。今後、職員間の方針の共有と訓練をより具体的に進めて行くことを期待する。		いざ、その場になったときに考えが変わることも想定した上で、対応を出来るように職員同士でも連携がとれるようになっておく必要がある 書類には示してあるが、現実問題になると違ってくることは考えられる

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族・主治医と連携し変化に応じての対応を取っていると思う 職員全員が状態を把握出来るような申し送り、介護記録の利用が出来ている	※	今まで通り、家族・主治医との連携を取っていきたい 変化に合わせた対応が出来るような、話し合いの時間をもちたい
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人・家族等関わる方々との情報交換、話し合いは出来ていると思う	※	利用者さんが不安にならないよう、家族等関わりのある方々との話し合いの時間を十分に取りたい
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人のプライバシーに関わる様な話を自分からはしないように心掛けている。記録に書いてある事を本人や他人に話すような事はしていない (外部評価) 言葉かけや態度は尊厳を損ねることのない対応に注意し、書類や記録物の取り扱いにも配慮しており、利用者が安心して生活できるよう支援している。		利用者の方のプライバシーの確保の徹底をはかり、安心して生活出来るよう支援していきたい
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) なるべく利用者の希望を聞いてあげたいと思っているが、自分の都合で聞いてあげれない時もある。分からない事を聞かれても時間があれば答え、忙しい時は後回しになっている	※	職員の都合を優先するのではなく、利用者の方の希望を聞いてあげれるよう努力したい 毎日生活していく上で、不安のないよう説明し楽しく暮らせるよう支援していきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者一人一人と向き合ってペースに合わせた介護を心掛けてはいるものの、職員側の仕事を優先してしまっている (外部評価) 出来るだけ個々の利用者のペースに添った介護を心がけている。	※	利用者全員を職員の都合に合わせるのではなく、その人、一人一人に合った生活が出来るようコミュニケーションをはかっていきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 散髪等の希望が出れば、店に一緒に行ったり、健康上ホームで希望されたりする方には美容師の方に来て頂いている 化粧等も一人で出来なければ介助している		今まで通り、本人の希望に合わせて支援していきたい
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来るだけ、動ける人には食事の準備や片付けを手伝ってもらっている 時間がない時は、ついつい職員で全てしてしまう時もある (外部評価) 出来るだけ利用者と共に食材の買出し・食事の準備・片付け等を能力に応じて支援している。咀嚼や嚥下が困難な人には職員が個々の方法で介助している。	※	時間がないから等の理由で職員側ですべてやってしまうのではなく、利用者さんと一緒になって出来るようにしたい。そうした支援によって少しでも毎日の生活の中に楽しみをもって頂けるよう心掛けていきたい
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲み物、おやつ等は利用者一人一人の好みに合わせてはいない。職員側の意見で提供してしまっている。 お酒やタバコ等は健康管理をしながら提供させて頂いている	※	お酒やタバコ等は今まで通り健康に注意し、提供する その他は、利用者一人一人の希望の物を提供出来るようにしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 定期的にトイレ誘導の声かけをして、トイレで排泄して頂くようにしている		定期的なトイレ誘導は今まで通り返ける
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 職員側の都合で入浴日、時間を決めてしまっている。本人の希望で「今日入りたい」と言われも日が空いてる人を優先し、希望の人を入れてあげれない時もある (外部評価) 一応入浴日を決めているが、希望があれば対応するなど、個々の状態に沿った介助を心がけている。	※	利用者一人一人の希望に合わせた入浴を支援できるよう心掛ける そのためにも、職員同士の連携を強化する
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 休息や眠る時間は、利用者のペースですて頂いている。一人で動けない方たちは、本人の様子を見て日中休息時間を取るようにしている	※	今まで通り利用者さんのペースに合わせた支援を続ける 夜間の見回りを強化していきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 天気の良い日は皆でドライブに出掛けたり、買い物に行ったりと、気分転換が出来るように支援している。しかし、利用者一人一人に合わせてというのは出来ない (外部評価) 天気の良い日は皆でドライブに出かけたり、買い物に行ったりしている。一人ひとりの生活歴を理解して喜びのある日々を見つけられるよう支援している。	※	その人の得意分野を見つけ、日々の生活において自分の役割を見つけられるよう支援したい 集団生活の中でストレスのたまらないようストレス発散の場をもうけていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金は職員側で全て管理させて頂いている 買い物等の希望があれば、職員同行で買い物に行き職員が支払っている	※	ホームに入所する前のように自分でお金の管理できるよう支援したい 難しい方には職員が力になるようにしていきたい
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気の良い日はホームの外に散歩に出掛けたりしているが、利用者一人一人の希望にそってというよりは職員の都合に合わせている状態である	※	利用者さん一人一人の希望に沿って出掛けられるよう支援していきたい ストレス発散の為にも出来るだけ外の空気を吸ってもらえるよう職員同士で連携をはかる
			(外部評価) 天気の良い日は皆でドライブや買い物、散歩などにかけている。利用者個々の希望に添うためには家族等の協力が必要となることが多い。	※	ホームの周辺は坂道が多く、入り組んでおり、足は自家用車を利用することになる。個々の対応は家族やボランティアをはじめ工夫が必要となり検討を期待したい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 花見等、その季節に応じた外出をしたりしている 家族の方と供に出かけたりすることは、出来ていない	※	利用者さんの意見を聞いて今まで以上に楽しんでもらえるような計画を立てる 家族の方も一緒に出掛けられる機会をつくっていききたい
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば、家族・友人への電話をしている		今まで通り本人の希望があれば、電話したり、手紙のやり取りができるよう支援していく
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族の方が来られた時は、居室であったり、リビングであたりと希望の場所でそれぞれ楽しい時間を過ごして頂いている。意思表示の出来ない方には職員が近況報告させて頂いています。		今まで通り、楽しい時間を過ごせるように工夫していきたい 近況報告なども詳しく出来るように職員間の申し送りを徹底する

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体に危険が及ぶ以外については拘束をしないようにしている 危険が及ぶ場合は、家族に了承を得たうえで、職員との会議で、開始することとしている	※	拘束廃止に向けての勉強会などを適時行い、廃止に向けての意識を高めていきたい
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、職員が目を配り、鍵をかけないよ努めている 夜間は、安全のため鍵をかけるが、朝に鍵を開けるようにしている (外部評価) 夜間以外は鍵をかけていない。職員は弊害を理解しており、常に利用者の動きに目を配っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中、長い間顔を見ない時は、見回りを行い出来るだけリビングにて、過ごして頂くため、お手伝いして頂いたりするよう配慮している		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 認知の状態によるが、自己危険管理ができ安全が取れる方に限るが、必要に応じて自己管理をして頂いている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態の管理を行い、職員全体で把握できるように申し送りを行っている ヒヤリハットを活用し、会議にかけ、事故から学び事故防止を行っている		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 入所者一人一人の過去の病気や手術等の経歴を把握し、服用されている薬の種類等を覚えるよう努めている	※	経験の豊かなスタッフの話を日ごろ聞くよう努めたり、応急手当等の講習があれば、積極的に参加したいと思う
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難場所や警報器などは把握している。日頃から、近所の方をお見かけすると笑顔で、ごあいさつする様心掛けている	※	非難場所までの安全な道順、周辺の地理を詳しく理解できるよう職員と話し合いをしていきたい。また、地域の住民方たちとは、何らかのイベント等でコミュニケーションをとっていきたい
			(外部評価) ホームだけでなく地域との関わりの中で計画的な訓練や、評価がまだ十分とは言えない。また、地震対策や備蓄品等についても、より具体的に検討されることが望ましい。	※	訓練時消防署の指導を戴いたり、運営推進会議のメンバー等の協力を得て計画的に実施することを期待する。また、避難路の確認・持ち出し品や救急箱の確認・備蓄品の検討等も期待する。してもらうだけでなく、災害時にホームとしてできることも明らかにしておきたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 問題やリスクがあれば、家族へ相談し解決、対応策を話し合いをするが、すべてではない	※	出来得る限り対応をしているが、ホームでの生活では限界もあるため、全てにおいて解決できるよう話し合いをするべきと考える
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化が見られた場合には、職員間での申し送り、相談をしたうえで、早急に対応できるよう心掛けている		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬内容のカードを使った上で、変更があれば書き換えし、内容が分からなければ、薬剤師や医師に聞き、内容が分かるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘にならないように、食物繊維のあるもの、水分などをとってもらっているが、下剤に頼るところもあり、改善が困難な状態にある方もいる	※	運動（散歩）、お風呂時のマッサージなど日々注意を行い、日常的に便秘を改善できるよう心掛ける
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食事後は、お茶にて口腔内の残渣物を流してもらったり、必要な方は、口腔ケアを行っている。朝、夕、自分で歯磨きをされる方がほとんどで、必要に応じ支援している		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事は毎食チェックを行い、食事が減少してきた人は、Drに相談、対応を行っている。水分補給は、10時、15時のおやつ時必要に応じて常にできるようにしている (外部評価) 食事は毎食チェックして、個々の体調と合わせて観察している。必要時には医師に相談し、対応している。水分量が不足しないよう10時と15時のおやつ時には気をつけている。	※	食事のカロリー等の概算を明らかにして、変化してゆく個々の健康管理に役立てることを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症のガイドラインをつくり、何かあれば、対応できるように、職員がいつも見え、手に取れる所に置いてある。状態に応じての対応が出来るようにしてあるが、ホームでできることは限られる		Drと連携をとりながら、必要に応じ対応していく、感染予防の必要性を職員一人一人が、心に留めておかなければならない
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食品の賞味期限などには注意を払っている。また、食器、特に、まな板や包丁、布巾等の清潔保持をしている	※	定期的に台所周りなどの念入りな掃除、消毒をするようスタッフと計画したい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ホームの建物周辺の草引きなど、時間をみつけ、するように心掛けている		季節の花など、プランターに植え、綺麗で清潔な玄関周りに外部から見えるよう取り組んでいる
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 普段から清潔を心掛けている。特に、トイレ等、不愉快な臭いがしないよう、芳香剤などを使用、こまめな汚物の片付けをしている (外部評価) 小高いホームの居間から見える景色は快適で、静かで明るい居心地のよい共用空間で、臭いもなく平穏に生活できている。トイレ・浴室・廊下等個々に安全が確保されている。利用者に合わせて細やかな工夫を追加している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合った利用者さんが楽しく食事等ができるように、食卓の座席の配置には気を配るようにしている。リビングの片隅にソファを置き少し離れた場所を作っている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人が使っていたものは居室へ置き、住みなれた環境に近づけるよう配慮している。家族さんの希望を聞き、持ち込みをしてはいるが、必要なものであるかは、意見を聞くこともある (外部評価) 利用者の個性に合った部屋となるよう、家族の協力を得ながら使い慣れた家具や飾り、テレビや衣類等を配置している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 便臭などの臭いが共有スペースに漂わないよう換気、消臭剤を使用している。利用者様の個々の状況を把握し窓の開閉、エアコンでの温度調整をしている		今後も継続していきます
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 身体機能を活かした工夫はされていないと思う。個々の日常生活動作に応じて、車椅子をしようしている	※	個々の身体機能を活かした安全な環境作りをしていきたい
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 個々の能力を把握しプライドを傷つけない様、努めている		今後も混乱のない様努めたい
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関先にベンチを置き、日向ぼっこをしている	※	ベランダにも利用者様が楽しめる様、野菜作りなどを取り入れていきたい

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	ニーズの表出が出来る利用者様については、掴んでいると思う
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	おやつ時には利用者様とお話する時間を持つてはいるが、自分の仕事を優先してしまっている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	ある程度自力で出来る方は、ご自分のペースで過ごしておられる 表出が困難な方には職員が気をつけて接している
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者様が出来ない事を全部手伝うのではなく、少し手助けすることで自尊心を傷つけないよう努めている
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者様から希望があった時は、速やかに対応している
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	個々の主治医が往診に来ている。24時間体制で緊急時にも対応している
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	要望があった時は、速やかに対応している
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	来所時には生活状況、健康状態をお話している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	出張美容師や知人の面会がある

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	防災訓練など、地域の訓練に参加し、非難時の応援者が増えている。地域で自力避難不能者の人数を把握してくれている
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	異動もあり慣れるには時間を要す
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	特に訴えも無く、要望があった時は対応している
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	苦情があれば速やかに対応している 面会時、感謝の言葉をかけられる事がある

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

一人一人の思いに心を傾け、寄り添いあえる様、介護に努めている

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。
(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム軽井沢

(ユニット名) さくらんぼ

記入者(管理者)

氏名 幸田 光生

評価完了日 平成 21 年 6 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念はありますが、地域密着型という確立した理念は無い	※	地域密着型サービスとしての、理念をホーム独自で作り上げていきます
			(外部評価) 地域の中で、人々と交流しながら、個々の利用者の生活を続けてゆけることを大切にしたい支援を理念に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を玄関に置き、いつも見えるようにしています 日々の業務におわれ、積極的には取り組めていない	※	ミーティング時に理念への取り組みについて、話し合い反省や注意すべき点を正していきたい
			(外部評価) ホームの中で目に触れる所に提示し、生活の目標として開設時より慣れ親しんでいるが、今年度は全職員で時間をかけて取り組み、見直しの機会を持つことを予定している。	※	
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 地域の方にはまだ理解して頂いているかどうか分かりませんが、家族の方には理解してもらっていると思います	※	町内の行事に参加して地域の人々に理解して頂けるように働きかけていきます

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日々の挨拶などは出来ていますが、立ち寄ってもらったり、日常的な付き合いまでにはいたっていない	※	気軽に日常的な付き合いが、出来る様に努めていきたい
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地区の運動会、防災訓練に参加させてもらっている		地域の行事活動内容を知り、今後も行事を通して地域の人との交流を深めていきたい
			(外部評価) 自治会に加入しており、地域の活動や行事にも参加している。ご近所とは散歩時の挨拶は出来ている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 今のところしていない		ホームに相談に来られたり、電話をかけてこられた時は、相談に応じています
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を通してGHのあり方、介護意識としての仕事等を改めて見直すことが出来ます	※	自己評価、外部評価を元にこれから改善を行います
			(外部評価) 評価の意義は理解し改善に向けての意欲は高いが、まだ十分検討されていない。全職員で分担して自己評価をし、ユニットの責任者と管理者等でまとめているが具体的な改善点を検討するまでには至っていない。	※	全職員で自己評価に参加し、具体的な改善に計画的に取り組むことを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度開催し、評価を受けたことの報告を行ったうえで、今後の方針や利用者の状態を考えた上でのサービス向上につながる話し合いを行っている		
			(外部評価) 二ヶ月に一回開催し、ホームの利用状況・行事・介護に関する情報等の説明や意見交換をしている。意見や改善は職員で共有し、出来るだけ早急に対応している。	※	メンバーは固定しないで、関連の深い警察や消防署の職員や市のケースワーカー等にも参加を促すことを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営方法の疑問点等は、市役所の介護保険課に行き指導してもらっている		
			(外部評価) 運営推進委員会のほか、市役所の介護・福祉担当者とは報告や相談等で関係作りが出来ている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加していますが、特定の人だけが参加していて、全員が理解していません	※	勉強会を開催していきます
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日々のケアの中で、スタッフ同士が声をかけ、注意し合っている	※	虐待に関する勉強会を開き、知識を深めていきたいと思えます 個々のスタッフの言葉かけ、行動を観察し虐待のなっていないか注意していこうと思えます

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 説明している 利用者、家族様の不安・疑問点を十分説明を行っている。理解、納得に努めている		今後も続ける
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 不満等訴えのあるときは、なるべく納得してもらえよう対応している		利用者の不満・苦情などミーティングの課題にする場合もあり、安心して日々暮らして頂くよう取り組んでいる
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者様の一日の暮らしの姿、外出でのお写真・感想などをメッセージでお伝えし取り組んでいる		今後も引き続きメッセージ等をお送りし、安心して頂ける様に努める
			(外部評価) 毎月一回ホームの利用者や職員の情報を新聞にして配布している。また、面会時の情報交換や必要時に電話・手紙で報告している。職員の異動等の周知徹底は利用者への影響も含めて工夫が必要と感じている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 反映に努めている 取り組みとしてホームへの招待、説明会などがある		変更に関して、説明会など開き、意見などを聞いている
			(外部評価) 面会時は情報交換をし、意見や苦情を話していただける努力をしている。また、内部・外部への相談窓口も説明し、明示している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 取組みに努力をしている 反映もさせている	※	職員異動後に取り組んでいる 今後期待する
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の要望に対応するため、職員間で休みの交代をしたりして、調整している		利用者様の家族への状況変化は要望に柔軟でスピーディーに対応出来るのが望ましい
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者様の視線を合わせ一人一人、必要な存在であるご自身の居場所として確信して頂けるよう支援させて頂く事に努めている		さりげなく利用者様に不安を与えないよう、利用者様のダメージ配慮に努める
			(外部評価) 職員の異動による利用者への影響が出来るだけ少なくなるよう、職員間で情報交換をしている。また、職員の離職が少なくするため、職場環境の整備や職員のスキルアップについても期待したい。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ユニット会議を開き、勉強会もある	※	今後も引き続く事が望ましい 内容も工夫すると良い
			(外部評価) 講演会や研修会への出席・参加は多いとは言えず、職員の意欲に繋げることを期待する。職場内では会議だけでなく、勉強会として計画的に企画・運営して行くことも期待する。	※	身近な介護技術からトピックスまで日々の業務で、個々の職員の意見を入れながら計画・評価することを期待する。また、外部での研修参加等についても個々の職員に意識づけして、参加に繋げることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 夏祭り実行に地域参加もあり、夜店もある寸劇や合唱、三味線など家族様と楽しめる	※	今後の取り組みを期待したい 日々の生活の中で歌など歌って練習にもなって、機嫌よくされておられる
			(外部評価) 指導的な職員は研修会などに出席することで同業者との交流は出来ているが、全職員が交流出来ていないとまでは言えない。	※	ホーム外での学びの機会は、職員同士の交流が期待出来る。この交流を通して自らの日々の業務を振り返ることも可能となる。これは利用者へのよりよい支援に繋がるため、積極的な支援を期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 適時、運営者と管理者が職員から話を聞き、ストレス軽減に取り組んでいる		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員一人ひとりに役割を持ってもらうよう心掛けている	※	役割分担の偏りがないようにするなどの改善が必要
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 自然な対応にて困っていることをよく聞き、不安がない様に他の職員と連携をとりあっている 求めていることを相談しながら、本人自身の気持ちを受とめる努力をしている		利用者様の不安なことを求めること等の相談は本人様から聴きいれ受けとめるよう取り組みたい
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 求められること等を聞く機会もあり、受け止める努力をしている		訪問されるご家族様の問いには機会があるときに、柔軟な対応にて不安なきよう意見あらば、聞くように努めている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 不可能作業を把握し、ご本人のやる気を失わないようにケア、声掛けを行っています		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所されたときは、まず本人との信頼関係を大事にして場の雰囲気になれて頂けるよう努めている (外部評価) ホームの職員が面談したり予め見学していただいたり、馴染める雰囲気を作っている。また、初期には必要に応じて家族の協力を得ている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 細やかな声掛けを行い、その場その場での利用者様の考えに耳を傾け、共感の出来る部分を持てるよう努力している (外部評価) 常に職員と利用者は共に支えあう関係を持てるように努めており、職員はお互いの関係を尊重している。		本人の能力に合わせ、お願いしお礼の言葉を伝え“役に立っている”と利用者様に感じて頂きます
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族との交流があまり無く、一緒に支えていく関係とは言えません	※	外出等のイベントにご家族をお誘いし、利用者様方の家族と一緒に職員と交流を深めていきます

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との間でトラブル等はありませんでした。 良い関係を築く支援について考えていませんでした		GH主催で行事を行い、利用差の方とご家族が一緒に楽しめる機会を作ります
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の方から希望がある時は、電話連絡できるような支援したり、馴染みの人と外食を楽しんで頂きました		利用者の方の希望には出来る限り応えていきます
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日常生活の行動や言葉の中から関係を計り、会話の中にご本人様以外の利用者の名前を入れ関心を持って頂くようしている		ほとんど居室にて過ごされる利用者の方は食事の時に話の輪に入れるよう声掛けに工夫しています
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 在宅へ帰られた利用者へ手紙を出したりしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 情報収集に努め何事も一度、ご本人にお伺いを立てスムーズな支援が出来る様心掛けています (外部評価) 日々の生活の中で一人ひとりの希望を知りながら生活歴を把握するように努めているが、その記録化がされておらず、職員全員が共有しているとまでは言えない。	※	利用者一人一人と向き合い、お話をよく聞き、少しでも意向を把握できるようににします 職員個々に把握した生活歴を記録しまとめて職員全員で共有し、一人ひとりの希望や意向として大切にすることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 看護サマリー等の資料をもとに把握するようしている		アセスメントを改めて、見直し、把握に努めます
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の申し送りを確実にを行うと共に、常に観察をし変化を見逃さないようにしています		気付いた事等あれば職員全員で情報を共有し、利用者の方の健康と安全を守ります
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) あらゆる観点から、個人に合った対応を自分一人の考えに固執することの無い様、話しながら決めるようにしている (外部評価) 担当者（受け持ち）が家族や利用者の希望等を聞き、ユニットの責任者と共に、個々の利用者の希望に添った介護計画を作成している。	※	色々な角度からの意見を聞き作成していきます。特に家族からの意見を大切にします 家族の希望を聞く機会を工夫して、より本人や家族を巻き込んだものとなる様期待する。また、ケア計画に関する会議を持ち、多くの職員で話し合っって作成することを期待する。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 利用者の方に変化が合った場合、それに応じてケアプランの見直しを行っています (外部評価) 定期的に見直しを行っており、変化時はその都度家族の協力を得ながら見直しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子、ケアの実践・結果を個々の介護記録に残し職員間で情報を共有し、介護計画の見直しを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 事業所のディケアと連絡し、ボランティアなどの外部サービスを利用できるよう、柔軟な支援を行っている (外部評価) 本人や家族の要望に応じて、日々の生活の中で対応している。受診・外出・理容美容・個々のお付き合い等できる範囲で支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域資源との協働では地域の行事参加や消防署や町内会などの協力を得ながら、防災訓練などを行っている		必要に応じ協力していきます
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 要望に添える様に必要に応じて、活用支援に努めている		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議にも出席していただき、情報支援などの協力体制を整えている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者と家族は、入居前からのかかりつけ医とGHの協力医療機関を選択することが出来るようになっている。協力HPとは、24時間連絡がとれ、利用者の安心をサポートしている	※	受診の内容の細かいことでもご家族へ報告していきます
			(外部評価) かかりつけ医の受診支援は出来ており、必要時訪問看護も受けている。また、希望により継続した医師の受診も受けている。	※	受診に関する業務は看護職が担当し、統一した連携が取られることを期待する。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関を通じて、認知症の要門医の協力を得られるよう、体制を整えている	※	継続していきます
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師を通じて、Drに直接相談し、健康管理を行っている	※	訪看時気になることがあれば相談し、助言をしてもらうようにしていきます
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 常日頃より主治医とは連絡を密にして、急変時の対応などにも協力して頂けるような関係を築いている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルケアに関したことを明記した承諾書を作成しており、ご本人やご家族の意向要望に応じて対応できるような体制を整えている	※	ミーティングでの情報を共有していく
			(外部評価) まだ事例はないが、作成したマニュアルに添って意志の確認をした利用者がある。症状の変化に伴って家族も含めて時々医師とミーティングを計画している。今後、職員間の方針の共有と訓練をより具体的に進めて行くことを期待する。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在、ケースは無いが、今後ターミナルケアに向けた取り組みが必要な場合は主治医を立会いの下、ご家族様に納得して頂ける支援ができる体制を整えるようにしたい		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 環境の変化によるダメージを最小限にとめる努力をしている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 排泄や更衣・入浴などの際のプライバシーの配慮や声掛けのタイミングについても自尊心を尊重した配慮を行っている。また一人ひとりにあった言葉掛けを行い、記録の表現についても個人情報保護に努めている (外部評価) 言葉かけや態度は尊厳を損ねることのない対応に注意し、書類や記録物の取り扱いにも配慮しており、利用者が安心して生活できるよう支援している。		申し送り時に、内容が利用者様に聞こえる場合があるので、今後の申し送り時の対応を工夫する必要があると思う
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 分かりやすい言葉で伝えるように努め、また声の音量も利用者様に応じて対応している。「自分で出来る」ことを尊重した自立支援のケアに努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り、一人一人のペースを大切にしているが、業務内容等でペースに合わせた支援が出来ていないときもある (外部評価) 出来るだけ個々の利用者のペースに添った介護を心がけている。	※	利用者一人ひとりが何がしたいのか、何を思っているのか注意深く観察していく
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 出来る限り、希望に応じた対応をしている		これからも継続していきます
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人の能力やその日の体調に合わせて、食事が楽しんで頂けるよう心掛けている (外部評価) 出来るだけ利用者と共に食材の買出し・食事の準備・片付け等を能力に応じて支援している。咀嚼や嚥下が困難な人には職員が個々の方法で介助している。	※	利用者一人ひとりの出来ることを見つけ、お手伝い等をお願いしていく
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人一人の希望・体調に合わせて、出来る限り支援している	※	利用者が希望を表現できるような声掛け雰囲気作りを行う

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンや行動を職員が把握できるよう努めています。下剤服用時は、こまめに声掛けを行います		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) ある程度の入浴日は決めているが、その日の一人一人の気分・体調などに合わせて行っている (外部評価) 一応入浴日を決めているが、希望があれば対応するなど、個々の状態に沿った介助を心がけている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 一人一人の希望にそえるよう、支援している。日中座って過すことの多い方には、声掛けしこまめに休んで頂くようにしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 買い物やお手伝いをいっしょに行っている。特になにもしていない方や居室で多くの時間を過す方がいます (外部評価) 天気の良い日は皆でドライブに出かけたり、買い物に行ったりしている。一人ひとりの生活歴を理解して喜びのある日々を見つけられるよう支援している。	※	居室で多くを過される方に対しては、声掛け等を行い、利用者一人ひとりの能力を見極めその方に合った過し方を支援していく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望に応じて、一緒に買い物へ行き、好きなものを購入されたり、能力に応じて管理してもらっている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 勤務状態、内容によって、希望にそえないこともあるが、出来る限り希望に応じた対応を行っている	※	外出を拒否される方には、外出したいと思っていただけるような支援をする
			(外部評価) 天気の良い日は皆でドライブや買い物、散歩などにかけている。利用者個々の希望に添うためには家族等の協力が必要となることが多い。	※	ホームの周辺は坂道が多く、入り組んでおり、足は自家用車を利用することになる。個々の対応は家族やボランティアをはじめ工夫が必要となり検討を期待したい。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 一人一人の希望や季節に応じて外出はしているが、家族参加の外出はない	※	外出の予定を事前に決めご家族への参加を呼びかけます
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望に応じて行っている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気持ちの良い声掛けを心掛けている 明るい雰囲気づくりに気をつけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束しない介護を心掛けています。安全のため、やむを得ない場合は、本人様、その家族様へ相談し、許可を頂いています		ミーティング等で議題に取り上げ、職員全員で考え、身体拘束をしないケアに取り組めます
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、居室・玄関に鍵はしていません 利用者の方が玄関へ向かわれる際は、さりげなく見守りを行い、一緒に付き添うようにしています		今後も鍵をかけないケアに取り組めるよう、利用者一人一人の現状把握に努めます
			(外部評価) 夜間以外は鍵をかけていない。職員は弊害を理解しており、常に利用者の動きに目を配っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者一人一人のペースを崩さないよう心掛けながら所在や様子の確認を行っています 日中、居室で過ごされる利用者の方は、様子を把握できていない部分があります		日中、居室で過ごされる利用者の方は、訪室の頻度を増やし、利用者の方が監視されていると感じないように声掛けに工夫していきます
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者一人一人の状態や能力に応じて、管理して頂いています お預かりする場合は、本人の了解を得ています		利用者一人一人の状態や能力の変化をその都度、見極め対応していきます
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故の危険がある時は、その可能性を減らせるよう考え、事故防止に取り組んでいます		定期的にミーティング等で議題に取り上げ、事故防止に努めます


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や初期対応のマニュアルはあるが、実際の経験は少なく不安に感じています。定期的な訓練も行っていません	※	ミーティングや勉強会で定期的に議題に取り上げ知識を身に付け自信を持ちたいです。実際の事故を想定した訓練を行い、職員全員が対応できるようにしていきたいです
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害対策マニュアルを職員がいつでも観覧できる場所へ置いています 年1回程度、避難訓練をしています		年2回程度、職員全員参加での避難訓練が出来れば良いと思います
			(外部評価) ホームだけでなく地域との関わりの中で計画的な訓練や、評価がまだ十分とは言えない。また、地震対策や備蓄品等についても、より具体的に検討されることが望ましい。	※	訓練時消防署の指導を戴いたり、運営推進会議のメンバー等の協力を得て計画的に実施することを期待する。また、避難路の確認・持ち出し品や救急箱の確認・備蓄品の検討等も期待する。してもらっただけでなく、災害時にホームとしてできることも明らかにしておきたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 良く面会に来られる家族とは話し合っている	※	面会に来られない家族へは、電話や手紙でお伝えしていく
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変を見逃さないよう心掛けています。変化に応じて医療機関との連携を図ります。申し送りノート等で情報の共有に努めています		利用者の一人一人の患っている病気を再度確認す、一人一人注意が必要な点を考え、早期の対応に結び付けます
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を職員がいつでも観覧出来るようにしています薬の変更や追加があった時は、申し送りをを行い情報の共有に努めています 薬の内容への理解が不足しています	※	利用者一人一人が服用している薬の内容の理解に努めます

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質を多く含む食材を料理に取り入れています。水分を多く摂取できるよう心掛けていますが、運動への働きかけはあまりしていません		散歩に出掛けたり、リビング内を歩いて頂ける様声掛けに工夫し働きかけていきます
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 拒否される方には出来ていません 夕食後は口腔ケアされる方も、朝・昼食後はしていない事が多いです		忘れずに口腔ケアを行ってき、拒否される方には、声掛けに工夫し促します
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 野菜を多く料理に取り入れています。利用者一人一人の状態に合わせ、制限がある方は摂取量を調節したり、介助が必要な方は食事介護を行っています (外部評価) 食事量は毎食チェックして、個々の体調と合わせて観察している。必要時には医師に相談し、対応している。水分量が不足しないよう10時と15時のおやつ時には気をつけている。	※	制限がある方は、少ない量でも満足できるよう工夫し、介助が必要な方は、なるべく自力摂取できるよう支援してます 食事のカロリー等の概算を明らかにして、変化してゆく個々の健康管理に役立てることを期待する。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症対策マニュアルを置いています 感染症が発生した場合は、医師の指示のもと対応します 手洗い、うがい、を行っています		感染症に対する理解を深め、正しい対応ができるよう努めます グローブの使用を徹底します
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 賞味期限が切れた食材は、処分しています 布巾等は毎日消毒を行っています		まな板や包丁の消毒を行います

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にはスロープや手すりを設置し出入りしやすくなっています。まわりにはベンチや花壇を置いています		季節ごとに花壇へ植えている花を変えて、雰囲気作りを行います
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングには外出時の写真や折り紙で作った花等を飾っています。トイレの窓には直接光が入らない様、レースのカーテンをしています		リビングの装飾を季節ごとに換え、テーブルには花瓶を置きます
			(外部評価) 小高いホームの居間から見える景色は快適で、静かで明るい居心地のよい共用空間で、臭いもなく平穏に生活できている。トイレ・浴室・廊下等個々に安全が確保されている。利用者に合わせて細やかな工夫を追加している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ベランダの前や玄関内に2人掛けのソファベンチを置いています		利用者がくつろげる雰囲気作りを大切にします
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室内に置いてあるテレビや家具等は利用者が使っていた物を本人や家族と相談し、使いやすいよう設置しています		季節の変わり目には、衣替えを本人と相談しながら行います
			(外部評価) 利用者の個性に合った部屋となるよう、家族の協力を得ながら使い慣れた家具や飾り、テレビや衣類等を配置している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 日中はリビング、居室の換気を行っています その日の気温によって冷暖房を使用し、温度調整を行っています		利用者の方の体感温度に合わせ調節していきます
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価) リビング、廊下、トイレ、風呂場に手すりを設置しています		脱衣場で更衣する際、立ち上がる為の手すりがあれば立位を安全に保てると思います
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者の方が時間をかければ出来ることを、職員が手伝ってしまうことがあります		利用者一人一人の能力に合わせて、お手伝いをお願いし、自信を持って生活して頂きます
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関前に花壇を置き、利用者の方が水遣りをしてくれます。ベランダは、運動をしたり喫煙をしたる活用されています		特定の利用者の方だけが、水遣りをしたり、ベランダを活用されている。他の利用者の方にも楽しんで頂けるよう心掛けます

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	自分の意思を表に出して下さる利用者の方は不満や希望を聞きやすいが、意思表示の難しい利用者の方やあまり表に出されない方はあまり掴めません
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	ほぼ毎日あります。ほかの事をしながら一緒に過ごすことが多く、利用者の方からは忙しそうに見えるかもしれません
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	なるべく利用者の方の自己決定を促していますが、自身のニーズの表出が困難な方は職員のペースで過ごされる方もいます
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者の方が自然に笑顔になれるよう声掛けに気をつけています 居室からあまり出て来られず、交流の少ない利用者の方がいます
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	希望がある時は出来る限りお連れしています 自分の意見を表に出されない利用者の方がどこに行きたいか、何がしたいか等掴めていません
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	全ての利用者の方に主治医がおり、定期的な往診を行っています 様子を観察し、変化があるときは医療機関との連携を図ります
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	要望や訴えには出来る限り応じています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	家族の方とゆっくりお話したり、相談したりする機会が作れていません
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	家族の方以外では、ボランティアの方や理容師の方が時折来られます

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	防災訓練など地域の訓練に参加し、非難時の応援者が増えている。地域で自力避難不能者の人数を把握してくれている
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の仕事に対する意識の違いがあります 人事異動等により、不安を感じている職員がいます
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	ほぼ全ての利用者の方が何らかの不安や不満を抱えており、それを職員が汲み取れていない部分があると思います
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時、苦情や希望は無いが、職員が家族の方にとっての言いやすい状況を作れていないのではないかと思います

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の方の自己決定を大切にしています。利用者の方が何をしたいのか、どこへ行きたいのか等の意思表示が出来るよう促し、出来る限りしたい事をして頂けるようにします